

平成29年度 11月号



新座市立第二中学校
新座市野火止 7-17-10
電話 048-477-1212

新座二中だより

<http://www.c-niiza.ed.jp/j-daini/>

毎年ふっと思い出される心に残る景色をとどけます

校長 田村 和昭

今年もはや11月、中学校生活の印象深い1ページとなる昨日の合唱祭を振り返ってみたいと思います。まずは、今年の合唱祭のスローガンをご紹介します。

～ 唱 笑 SHOW

誰よりも歌を愛すべし ～

今年も例年に勝り、各学級の合唱への取組が熱を帯びていたと感じています。各学年の取組の様子を思い返すと、パート練習で音程を合わせているクラス、練習を音楽の先生や担任の先生、さらに副担任の先生に見てもらってアドバイスを受けているクラス、歌の強弱（*f-p*）を意識的に練習しているクラスなどそれぞれに工夫がみられました。



学年プレ合唱の講評を受け、さらに練習は細部にわたり、朝から夕まで生徒の歌声が校舎内に響き渡りました。時には、人間関係の衝突もあったのでしょう、話し合いを重ねながら練習を進めるクラスもありました。…いよいよです。

合唱祭当日から

どのクラスも素晴らしく、これまでの努力の成果が発揮され会場を感動に導いてく

れました。金、銀、銅賞に輝いたクラスには、心からおめでとうの言葉を送ります。

しかし、私が思う合唱祭の価値は入賞だけではありません。さらに大切な財産とすべきものがあると思っています。それは、単によき思い出というものでなく、クラスで合唱を通じて創りあげる世界観、さらにその中で情熱や気迫を体感するということです。指揮者、伴奏者がリードしクラス全員が一生懸命歌うことで生まれる一体感は、心地よく聴衆を引き込みます。

一期一会

さらに、一期一会の心が生み出す「わたしたちがこうして出会っているこの時間は、二度と巡っては来ないたった一度きりのもの。だから、この一瞬を大切に思い、今できる最高の努力をしよう」という経験は、何物にも代えがたいものです。特に3年生にとっては、一生涯の財産です。

歌は私たちの毎日の生活に潤いを与えてくれます。だからこそ、歌のある潤いに満ちた人生を私たちは望みます。

「二中生諸君、今日は今までの練習の成果をすべてこのステージに残していく合唱にしよう。各パートの歌声が一つになる心地よいハーモニーでこの会場を埋めつくしてください。そして、上級生、下級生、同学年の他のクラスの魅力ある合唱に浸ってください」と、私は開会式で全校生徒に語りかけました。

今年の合唱祭が、木の葉が色付くこの季節に毎年ふっと思い出される心に残る景色となることを期待します。